



海に出現！

育苗前：浮きとロープが設置されています（9月中旬～10月下旬）

のり養殖施設の‘いろいろな表情’

～鹿ノ瀬～



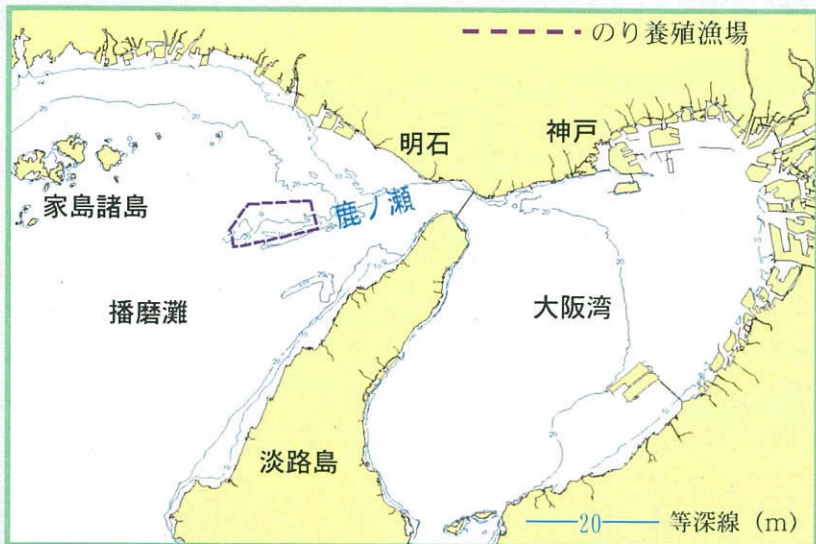
育苗中：のり網が海面上に設置されています（10月下旬～11月下旬）



本張り：のり網が海中に設置されています（11月下旬～5月中旬）



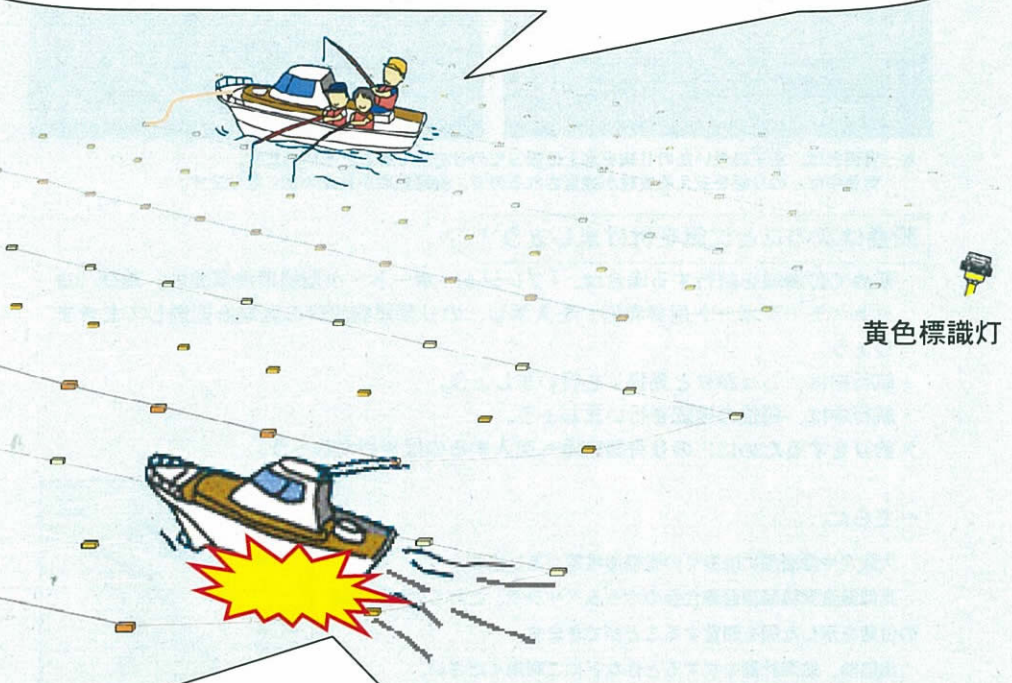
運輸安全委員会事務局 神戸事務所



播磨灘北東部に位置する「鹿ノ瀬」は、明石海峡の西側から南西方向に水深が20m程度の浅瀬が広がる海域であり、天然の好漁場となっています。
 鹿ノ瀬では、底びき網等の漁船が操業を行う一方、区画漁業漁場が設けられてのり養殖が行われており、プレジャーボートが養殖漁場に進出し、養殖施設に乗り揚げるなどの事故が起きています。

事例1 施設内で釣りをしないように！

のり養殖漁場の中に入り、のり養殖施設のロープに係留索を引っ掛けて釣りをしていたところ、風と波により、係留索が切れて流され、のり養殖施設に乗り揚げました。(11月中旬)



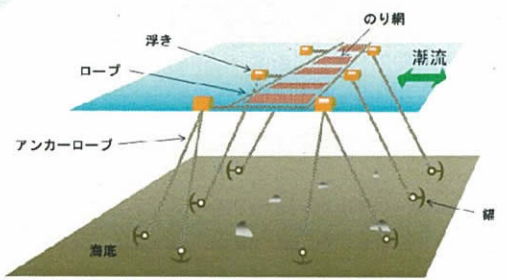
事例3 水路調査を十分に！

船長は、航行中に衝撃を感じて海面を見たところ、のり網を認め、のり養殖施設に乗り揚げたことを知りました。
 船長は、この付近にのり養殖漁場があると聞いたことはありましたが、詳しい設置場所、形や大きさなどは知りませんでした。(1月中旬)



夏頃には通航できますが、9月以降は注意が必要です。

のり養殖施設イメージ図



海面下にはロープが張られています。
 資料提供：兵庫県農政環境部 農林水産局 水産課

事例2 見張りをしっかりと！

船長は、考え事をしており、のり養殖漁場に気付かずに航行して進入し、プロペラにのり養殖施設のアンカーロープが絡まり、航行不能となりました。
 船長は、この付近を時々航行しており、のり養殖漁場があることは知っていました。(10月下旬)

のり養殖は秋頃から始まります！

のり養殖は、冬に行われていると思われがちですが、毎年9月中旬から翌年5月中旬まで行われており、浮きやロープをはじめとする漁具の設置が始まると漁場内は航行できなくなります。

のり養殖施設は、周囲に標識灯等が設置されていますが、育苗^{いくびょう}が始まる10月下旬頃までは、標識灯以外には浮きとロープが設置されているだけで、海面には何も無いように見えるので、特に注意が必要です。



育苗前



育苗中

* 育苗とは、胞子^{ほうし}の付いたのり網を海上に張ってのりを育てることをいいます。育苗中は、のり網を支える支柱が設置されるので、養殖施設が見えやすくなります。

船長は次のことに気を付けましょう！

- ・初めての海域を航行する場合は、「プレジャーボート・小型船用港湾案内」及び「ヨット・モーターボート用参考図」を入手し、のり養殖施設等の区域を把握しておきましょう。
- ・航行中は、しっかりと見張りを行いましょう。
- ・航行中は、船位の確認を行いましょう。
- ・釣りをするために、のり養殖漁場へ進入するのはやめましょう。

～さらに…

大阪湾や播磨灘には多くの養殖漁場等があります。

兵庫県漁業協同組合連合会のホームページで、これらの養殖漁場の位置を示した図を閲覧することができます。

出航前、航海計画を立てるときなどにご利用ください。

(兵庫県漁業協同組合連合会 <http://www.hggyoren.jf-net.ne.jp/>)



運輸安全委員会事務局 神戸事務所

〒650-0042 神戸市中央区波止場町1番1号

神戸第2地方合同庁舎10階

TEL 078-331-7258 FAX 078-392-1649

E-MAIL kobjim-u58fh@mlit.go.jp

JSB 船舶事故ハザードマップ
モバイル版



～地図から探せる事故とリスクと安全情報～